

ユーザーマニュアル

デジタルサイネージディスプレイ

超高輝度 55 型両面ディスプレイ

DW551DR4



この度はお買い上げいただき誠に有難うございます。ご使用前に本取り扱い説明書をよくお読みになり正しくお使いください。3 ページの安全に関するご注意事項は必ずお読みください。本書は大切に保管ください。

本書で使用される図表等は参照用のみです。実際の製品とは異なる場合があります。製品の設計および仕様を予告なく変更することがございます。

HDMI™

目次

安全上のご注意事項.....	3
セットと付属品の確認.....	5
ディスプレイ取り出し方法.....	5
ディスプレイ DW551DR4 の付属品.....	6
付属スタンド ISK551DR の部品.....	7
設置.....	8
1-6. 設置作業.....	9
7. 接続端子配列.....	13
8. ケーブル類の接続.....	14
9. ケーブル類の取り回し.....	16
10-11. 設置作業最終工程.....	17
設置に関する補足.....	19
操作説明.....	21
ディスプレイの電源を入れる/切る.....	19
リモコンの使用方法.....	22
オンスクリーンディスプレイ (OSD)メニュー操作方法.....	23
仕様.....	27
入力モード.....	28
ピン配列.....	28
DSM365 について.....	29
DSM365 に切り替えるには.....	29
コンテンツについて.....	29
簡易自動再生[USB/SD Auto Playback]について.....	30
トラブルシューティング.....	32

電波障害に関するご注意

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。VCCI-A

- * 本製品をラジオ・テレビ受信機から十分離して別のコンセントに接続下さい。
- * この製品に接続するケーブルはシールドされたものをご使用ください。

本製品の廃棄

本製品を破棄する場合は地域や地方自治体などの規制に従って処分ください。

商標に関する情報

- * HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- * DisplayPort は Video Electronics Standards Association の登録商標です。
- * Android™ は Google LLC の商標です。

免責事項について




- * 地震・雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用その他異常な条件下での使用によって生じた損害に対して当社は一切の責任を負いません。
- * 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害に関し当社は一切の責任を負いません。
- * 取付/取扱説明書の記載内容を守らないことで生じた損害に関し当社は一切の責任を負いません。
- * 誤操作や静電気などのノイズにより、製品に記憶されたデータなどが、変化/消失することがあります。これらの場合に当社は一切の責任を負いません。
















安全上の注意事項




～必ずお読みください。～














本項では製品を安全にお使い頂くための重要事項が記載されています。よくご理解下さい。

[記号の意味]

	本記号は禁止（してはいけないこと）を示します。		本記号は指示（しなければならないこと）を示します。		本記号は注意（気を付ける必要があること）を示します。
---	-------------------------	---	---------------------------	---	----------------------------

 警告 この条項を守らないと大けがや重大な事故につながる可能性があります。	
	ディスプレイは濡れた場所に設置せず、また花瓶など液体が入った物は機器の上に置かないでください。
	ディスプレイは灯油などの可燃性または揮発性の液体の側に設置しないでください。
	ディスプレイはラジエーターなど、発熱する機器の側に設置しないでください。
	ディスプレイはホコリの多い場所に設置しないでください。
	電源コードおよびプラグを破損させないでください。重い物の下敷きにしたり引っ張ったりねじったりしないでください。
	スクリーンを解体すると感電の恐れがありますのでお止めください。
	濡れた手でスクリーンに触れると感電の恐れがありますのでお止めください。保守点検は販売店へお問い合わせください。
	煙や異常音、変なにおいがする場合はすぐに電源を切りプラグをはずし、取扱店までご連絡ください。
	内部に水や遺物が入った場合は電源を切りプラグをコンセントから抜いて取扱店にご連絡ください。
	電源は正しい電源電圧のコンセントを使用してください。電源コードは本体の付属品を使用してください。
	機器を落としたりキャビネットが破損した場合、ひび割れや以上な振動など構造的異常が発生した際は電源を切りプラグをコンセントから抜いてください。
	転倒・落下防止の処置をすること。落下などによるけがを防ぐため、設置時に処置をしてください。要領は設置環境にも関連しますので、設置業者にご相談ください。
	雷が鳴りだしたら本体、電源コード、本体に接続された機器、ケーブル類には触れないでください。
	アースを接続すること。アースが接続されないで万が一漏電した場合は火災や感電のおそれがあります。また、静電気で機器にダメージを与える可能性があります。アースが接続できない場合は専門の工事業者にご相談ください。

 注意 この条項を守らないとけがや機材の破損、事故につながる可能性があります。	
	長時間の使用後は、スクリーン裏のヒートシンクが過熱している場合があります。火傷の恐れがありますので触らないでください。
	スクリーンに鋭利な物体で触れたり、過度に圧力を与えたりするとパネルが破損することがありますのでお止めください。

 注意 この条項を守らないとけがや機材の破損、事故につながる可能性があります。	
	ディスプレイは狭い場所には設置しないで通気性の良い場所に設置してください。通気口やヒートシンクを覆わないようにしてください。
	スクリーン上に物を落とさないでください。
	機器を清掃する前に、電源コードを抜いてください。スクリーンを拭くときはやわらかい乾いた布を使用してください。アルコールまたはその他の液体薬品を使用しないでください。
	温度の高いところ、多湿、埃が多い、或いは煙霧の発生する場所では使用しないでください。
	太陽光が当たり温度が上がる場所ではエアコン・サーキュレーターによる換気で温度を使用条件内に維持してご使用ください。
	本体の取り扱いにご注意ください。水平ではない場所や不安定な物体、振動する物体などの上に置かないようにしてください。落下や破損の原因となります。梱包材は次回運搬時のために保存してください。
	本マニュアルで説明している使用手順に従ってもディスプレイを操作できない場合、稼働しない場合は速やかに電源を切り電源コードをはずしてください。販売店までご連絡ください。
	本機器は通常、標高2000メートル以下の環境で作動します。2000メートル以上の標高で本機器を設置すると異常をきたす可能性があります。
	本機器は家庭ごみとして廃棄しないでください。地域の廃棄物規制に従って正しく処分してください。
	壁掛けや天吊り設置ではコンクリートまたは表面が不燃性のもののみマウントしてください。設置業者にご確認ください。
	電源コードは建物壁の表面を這わせないこと。又、壁の中、天井、床下等建物の構造上見えない空間を通した設置をしないでください。
	本機器は無線周波エネルギーが発生、および放射します。本機器が発生させる無線周波エネルギーは、FCC(連邦通信委員会)が定める、ばく露制限値を大幅に下回っています。

 **注意** 其他のご注意事項

*** 液晶焼き付けに対する推奨操作**

スクリーン上に静止または固定画像を長時間表示し続けると、画面に焼き付けが生じる場合があります。焼き付けを防ぐため、同一の静止また固定画像を長時間表示しないようにご注意頂き、コンテンツの切り替えを行ってください。この画像の焼き付けは、メーカー保証の対象外です。)

*** 液晶パネルの清掃お手入れについて (目安：月に一度)**

- やわらかい糸くずの出ない布でスクリーンパネルの埃をふき取ります。
- パネルを拭く際には固い素材のものを使用しないでください。
- 手や鋭利な物体(ペンや爪など)でパネルを突いたり、強い圧力を与えるとパネルが破損する場合があります。
- パネルが変色する恐れがあるため、洗浄液は使用しないでください。
- 設置場所周辺の埃等も掃除により除去ください。

*** キャビネットのクリーニング**

- 電源コードを抜きます。
- 柔らかい布でケースを拭きます。

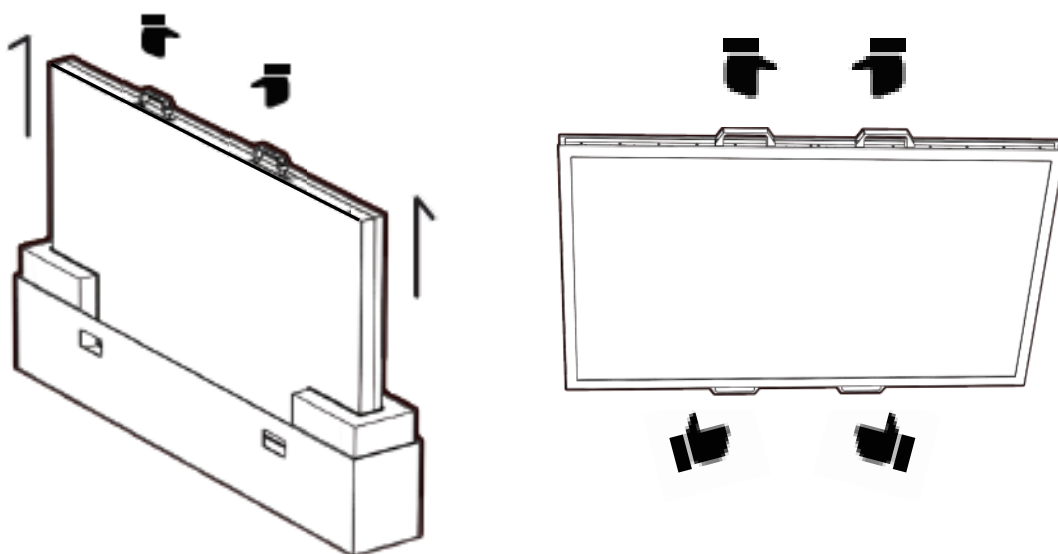
*** お手入れ時の注意事項**

- ケースの塗料に異常が起こり、ひび割れや剥がれの原因となりますので次の溶剤は使用しないでください：ベンジン溶液、アルカリ溶液、アルコール系洗浄液、ガラスクリーナー、ワックス、ポリッシャー(つや出し剤)、洗剤

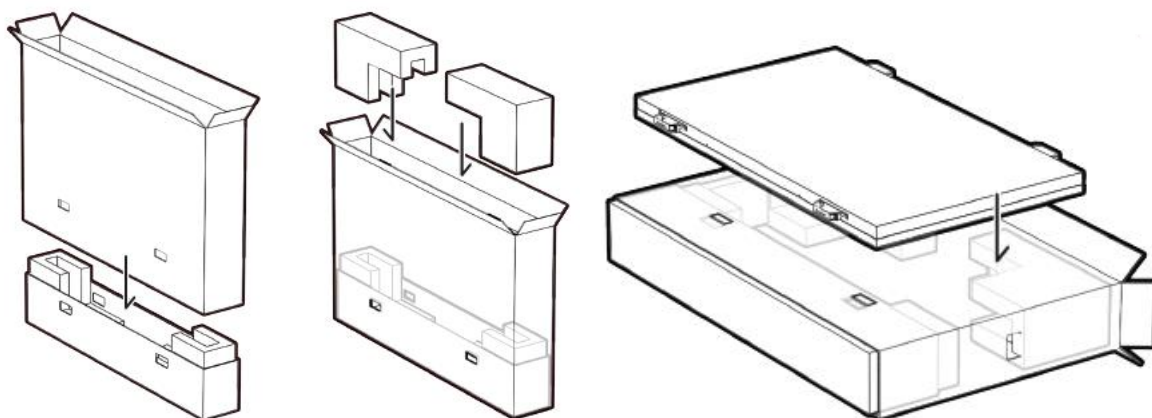
セットと付属品の確認

ディスプレイの取り出し

作業は4名以上で行って下さい。上箱を開けセット上部のアクセサリ類を取り出します。セットを保護しているビニールを引き下げ、側面の二つの取手を2名でそれぞれしっかり握って持ち上げます。セットの底の部分が持ち上がったところで逆の側面の二つの取手を別の2名がつかんで完全に引き上げます。ディスプレイのフレーム部やガラス面を強くつかんだりせず、必ずハンドルを持って持ち上げて下さい。



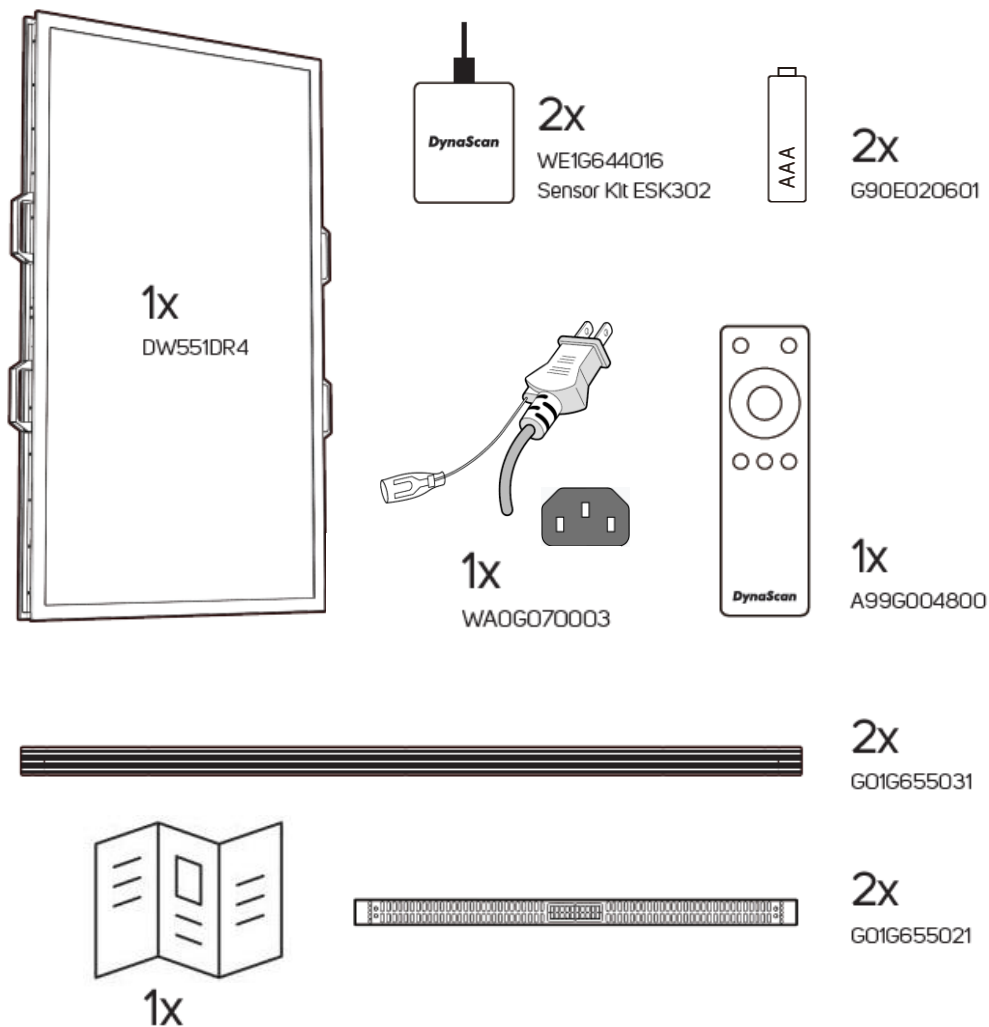
カートンにはパッキングを戻しうつ伏せにし、その上にディスプレイを丁寧に置いて設置作業に使用して下さい。（直接固いフロリングに置いたり壁に立てかけたりするようなことはしないで下さい。）



同梱物の確認

1. ディ스플레이部 (DW551DR4)

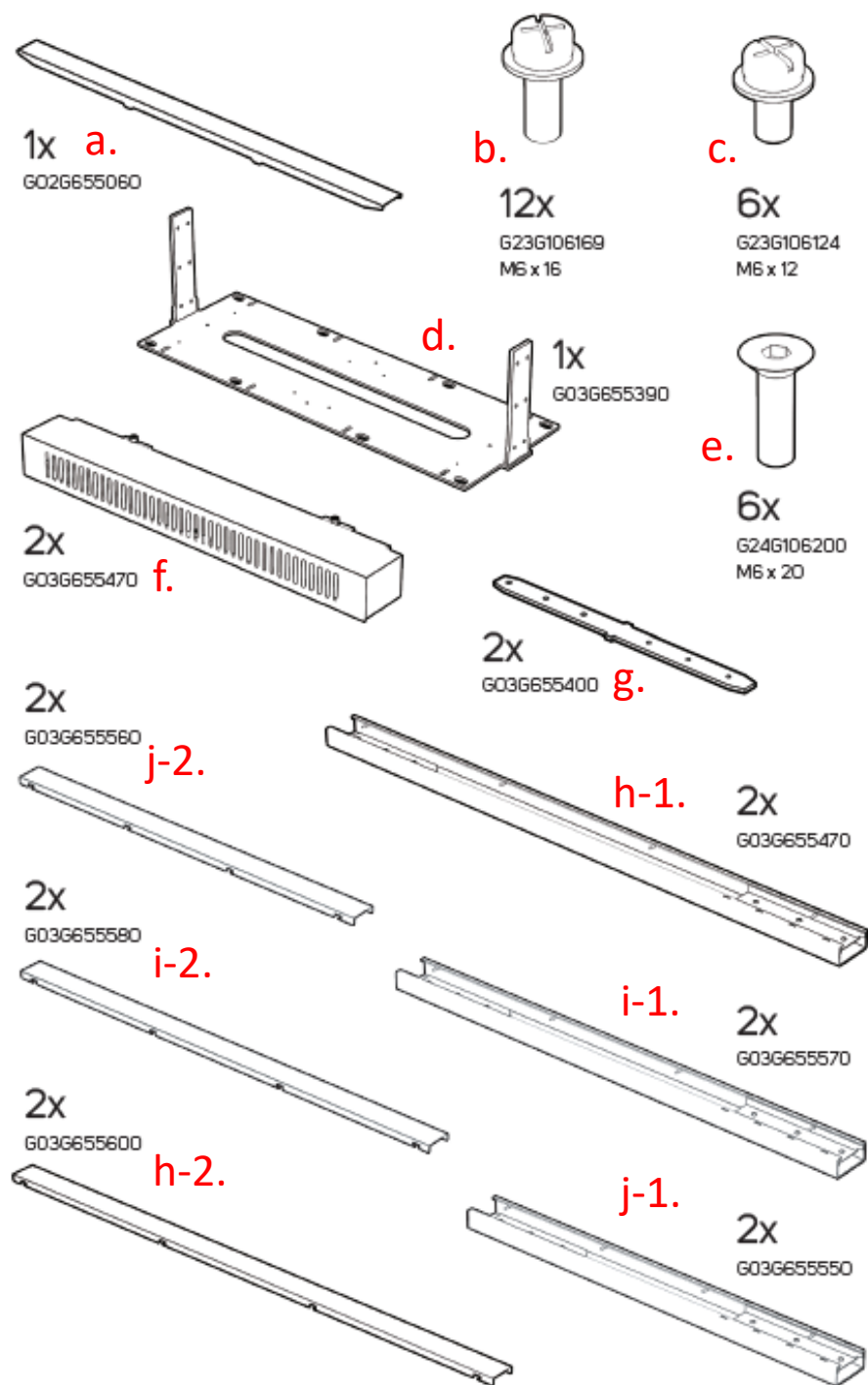
下記のアクセサリがディスプレイに付属していることを確認してください。万が一、いずれかが不足している場合は商品をご購入された代理店まで至急ご連絡ください。アクセサリの色や形状は製品によって異なる場合があります。（*側面カバー(S)は出荷時にセット本体に取り付けてあります。）



- ディ스플레이本体 x 1台
- リモコン x 1個
- 電池(1.5V/単4) x 2本
- 電源ケーブル x 1本
- 安全のしおりとクイックスタートガイド x 1部
- リモコン・照度認知 兼用センサー x 2個
- ディ스플레이側面カバー(L) x 2本
- ディ스플레이側面カバー(S) x 2本 *

* ディ스플레이側面カバー (S) はディスプレイ本体の短い辺にそれぞれ付いた状態で梱包されています。

2. 付属スタンド部 (ISK551DR-C2255-2103-1951)



- | | |
|---------------------|-----------------------|
| a. 底面部箱中央部カバー x1 | h-1. スタンド脚(長) x2 |
| b. スタンド組み立て用+ネジ x12 | h-2. スタンド脚(長) 用カバー x2 |
| c. ディスプレイ取付用+ネジ x6 | i-1. スタンド脚(中) x2 |
| d. 床取付用ベース底板 x1 | i-2. スタンド脚(中) 用カバー x2 |
| e. プレート本体取付用六角ネジ x6 | j-1. スタンド脚(短) x2 |
| f. 底面部箱部品 x2 | j-2. スタンド脚(短) 用カバー x2 |
| g. ディスプレイ取付用プレート x2 | |

* スタンドの脚は3つのサイズより設置場所に適したものを選択ください。余った脚部品は使用しません。

設置について (付属スタンドによる標準設置)



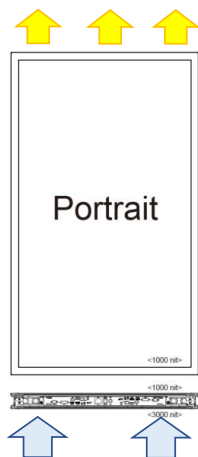
本機は屋内用で、設置には付属の縦設置用フロースタンドが必要です。スタンドや取付金具の説明書・指示に従い、正しく設置してください。

不適切な設置は怪我や機器の破損に繋がります。不適切な設置による破損は製品保証の対象外であり、DynaScan はかかる事態に対する一切の責任を負いません。

- ・強い振動がある場所や埃の多い場所には設置しないでください。
- ・建物の主要電気パネルの側には設置しないでください。
- ・関係者以外不特定多数の人が簡単に取り外せない様、本体はしっかり固定ください。
- ・適切な通気性を保つため、セット(またはビデオウォールの寸法)の周囲からできるだけ他の物体を離すようにしてください。
- ・床にフロースタンドをアンカー止めする設置はユーザーの責任で行って頂きます。床の強度によってはディスプレイを設置できない場合があります。建築や機器設置専門業者によりディスプレイの重量を支えられるか等、設置場所の査定が事前に行われる必要があります。強度が不十分であれば事前に床の補強工事等を行って頂く必要があります。強度が不十分な床に設置された場合、セットの転倒などで怪我の要因となる場合があります。不適切な設置、改造、或いは天災による破損は製品保証の対象に含まれていません。
- ・アンカー止め設置作業は特殊な技術による工事が必要になりますので販売店・機器設置専門業者へ作業をご依頼ください。
- ・取付・組み立て作業を行う際は4名以上で作業頂く様、お願い致します。
- ・適切に熱が放散されるよう、機器の通気口は覆わないでください。本機種では、接続端子類のある短い側面から吸気し、反対側の短い側面より排気しています。
- ・スタンドの組み立てとディスプレイの設置は必ず機器の電源を切って作業してください。感電の危険性があります。

・設置場所

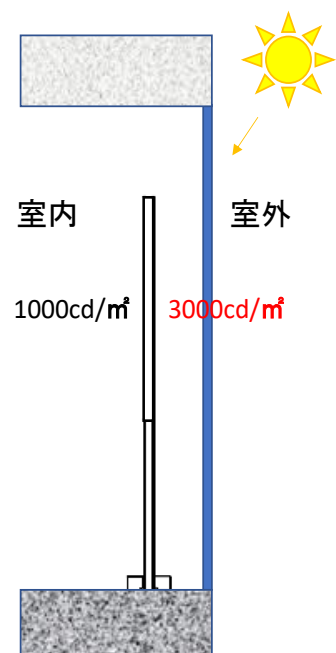
本製品は外光が入り込むウィンドウの近くなど明るい環境側に 3000cd/m²のディスプレイ面
室内側には 1000cd/m²のディスプレイ面が向く様に設置します。



設置・メンテ作業が出来る十分なスペースを確保してください。空調が効いている密閉空間ではない場所で、適正な温度に保たれている必要があります。太陽光が当たりますとディスプレイ表面の温度が非常に高くなってしまいます。ウィンドウと液晶面は必ず 10cm 以上空間を開け更に日差しが強い場合はその空間にサーキュレーターなどで、室内温度の涼しい風を流してください。

本製品は端子面のある側面より吸気してその反対側の側面より放熱します。

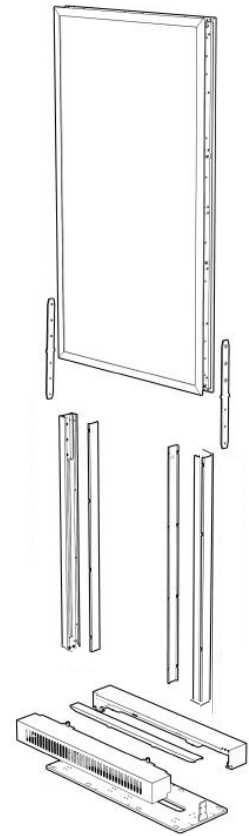
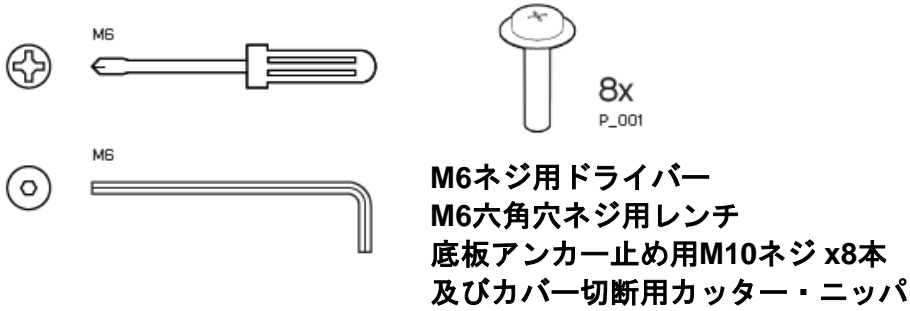
また床はアンカー設置が可能で十分な強度を持った材質であることを事前に確認ください。



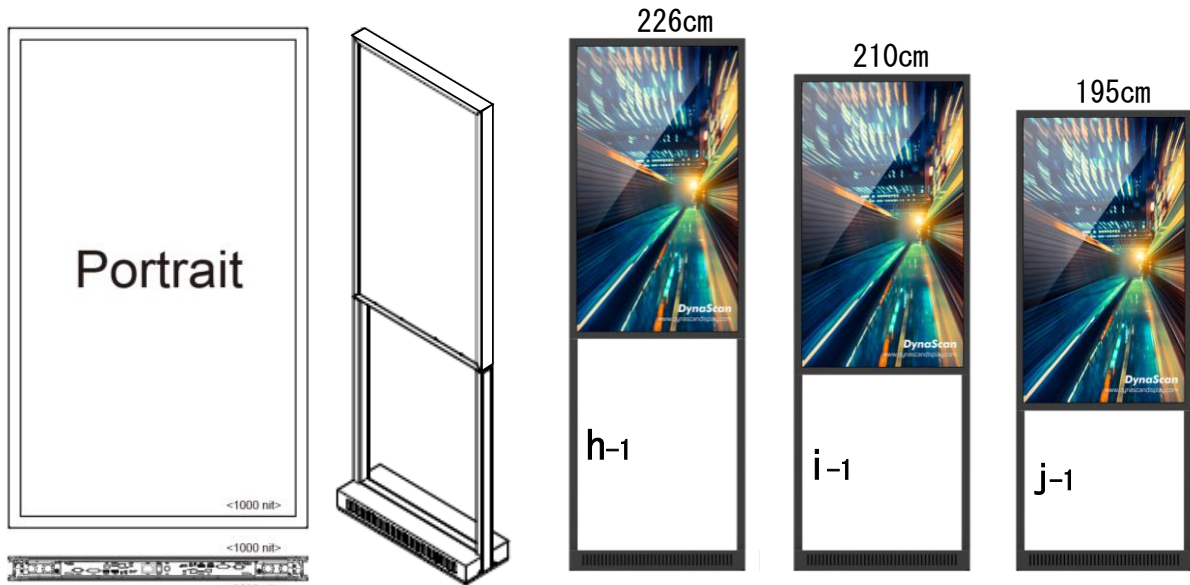
・設置作業

本製品組立て作業の全体概要は右の図の内容です。各工程詳細につきまして以下の通りご説明いたします。安全に作業を進めてください。

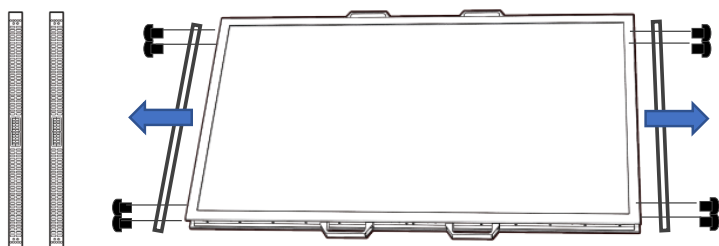
[作業に準備頂く必要がある工具・アンカー用ネジ]



本機種の基本パッケージはディスプレイを縦 (Portrait) にして付属のフロースタンドを床にアンカー固定して設置します。
この時にディスプレイの下側に端子面側が来るようにします。



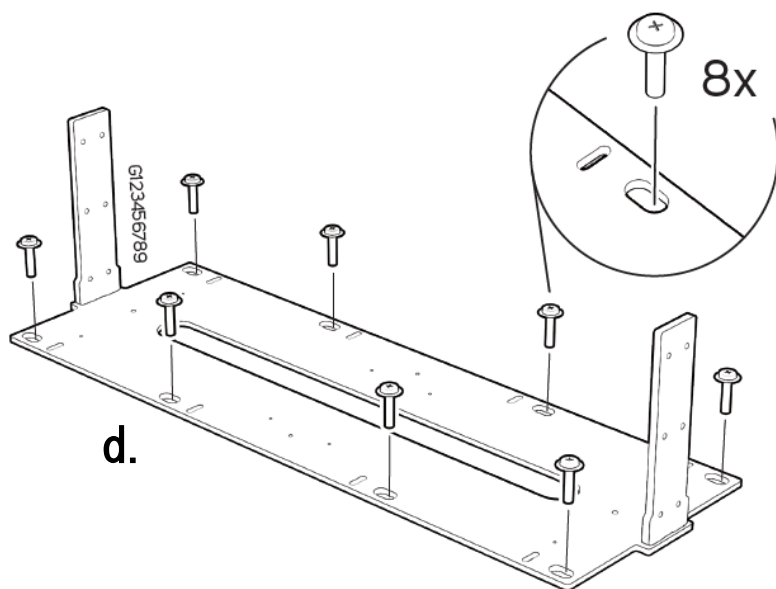
スタンドの脚は三つの長さがあります。設置場所の環境によりあらかじめ選択してください。



* 設置作業を始める前にセットから上下のディスプレイ側面カバー (S) を一旦取り外して下さい。

1. 底板のアンカー止め

ディスプレイスタンドの基礎となる底板(d.)を M10 サイズのアンカーボルト（製品には含まれていません。）でしっかり床面に固定します。

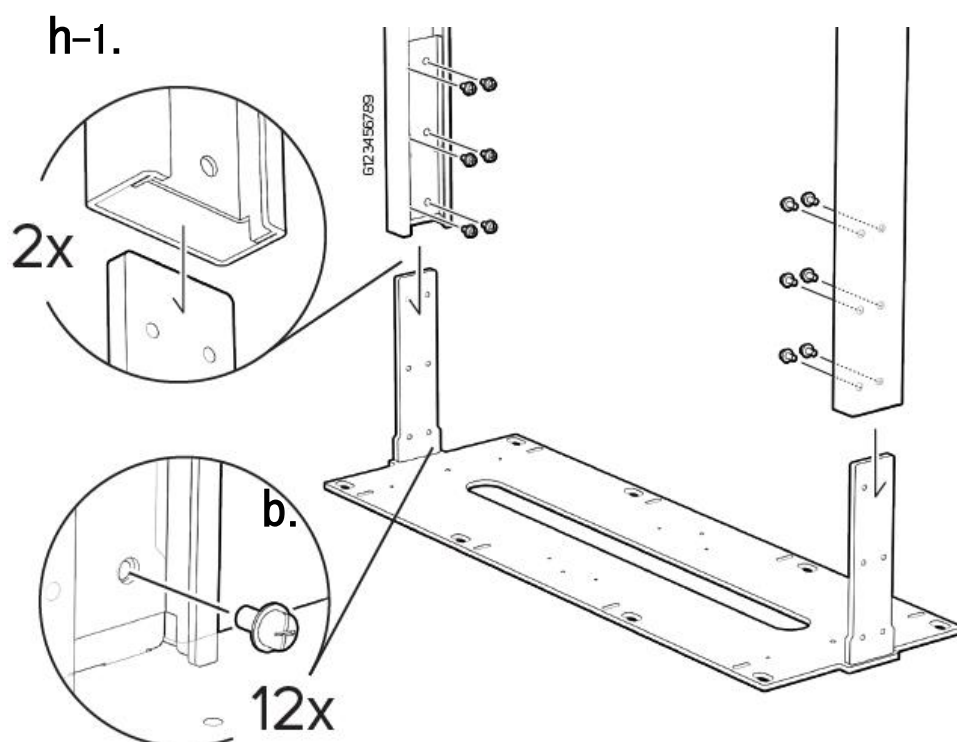


床面材・構造が本製品を支えるのに十分な強度が保持されていることを事前に建設業者に確認の上で、アンカー作業が可能な専門業者に依頼してください。

この作業は特殊ですのでご自分ではなさないでください。

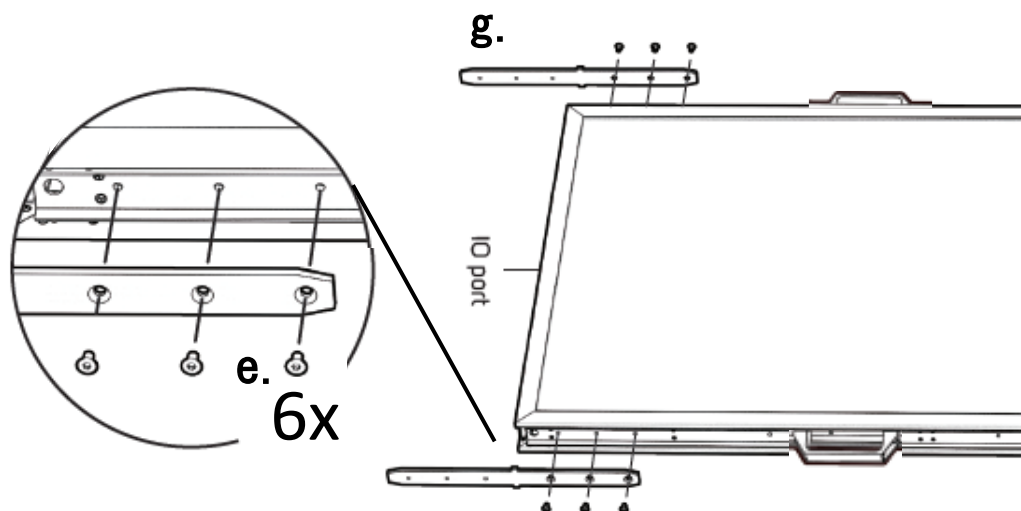
2. 底板の支柱にスタンドの脚を固定する

底板の支柱にスタンド脚を差し込み、組み立て用ネジ(b)で左右各 6 か所をネジ止めします。スタンド脚は 3 サイズより選んで設置を進めてください。(h-1=長,i-1=中,j-1=短)ここからは一番長い=高さが高い h-1 を使用した想定でご説明します。



3. ディ스플레이に取付用プレートを取り付ける

ディスプレイの側面に取付用プレート(g.)を、左右それぞれ3か所に(e.)の六角ネジで取り付けます。

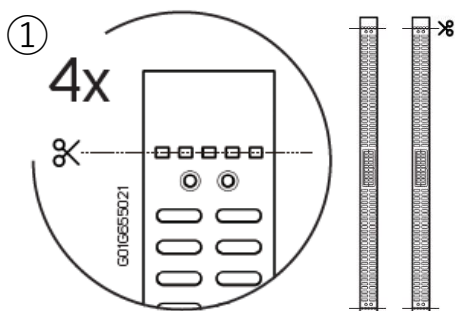


穴の位置：端から 64, 124, 184 mm の 3 か所（左右）

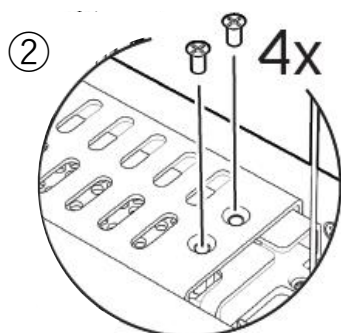
4. ディ스플레이上部に側面カバー(S)の切断と取り付け

標準の縦設置の場合は上下の短い方のカバーを以下の要領で両端を切断して取り付けます。長い方の側面カバー(L)はそのまま使用します。

(もし天吊りや横用スタンドのカスタム品をご準備され、横に設置する場合は側面カバー(S)の切断はせず、長い方の側面カバー(L)の両端を同じ要領で切断して使用します。)



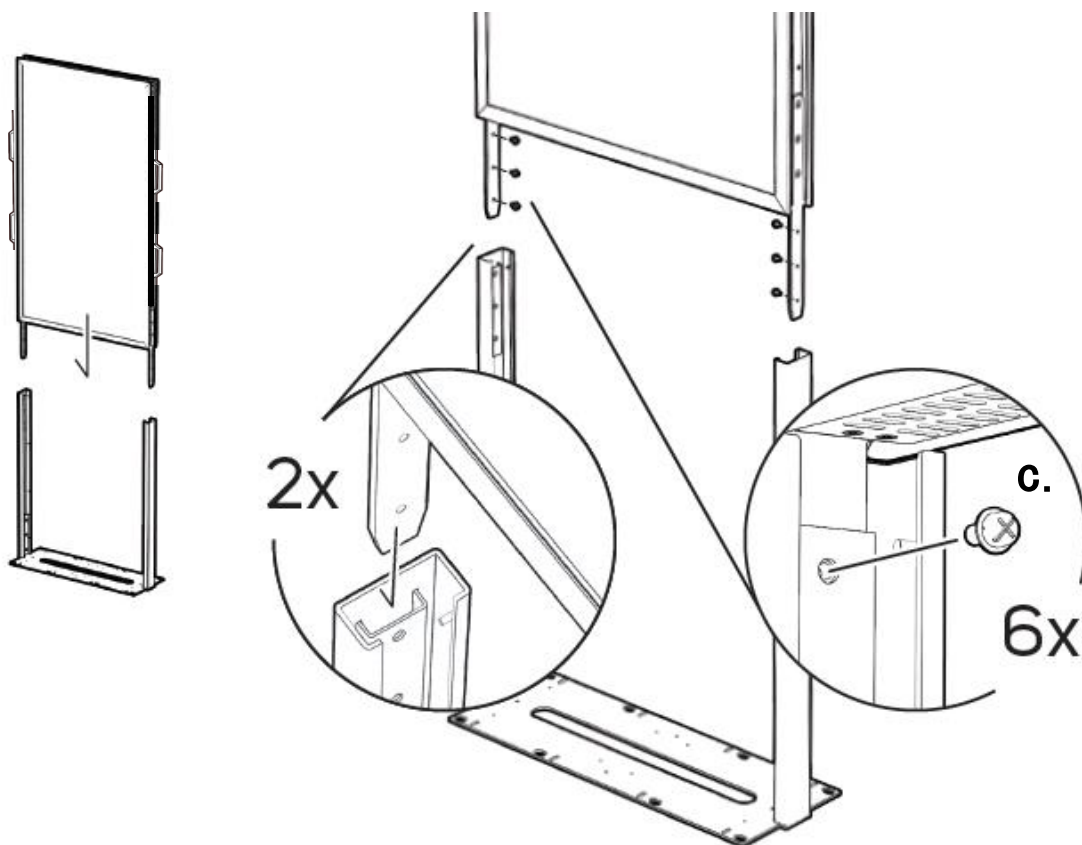
最初に取り外しました上面と下面に付ける2本の側面カバー(S)の両端を左図の部分で切断します。切断作業はカッターかニッパで切断位置にガイドをつけ、ペンチで折って切断する方法を推奨します。



切断した側面カバー(S)をセット上面にもとのネジを使用して取り付けます。(4本/面)



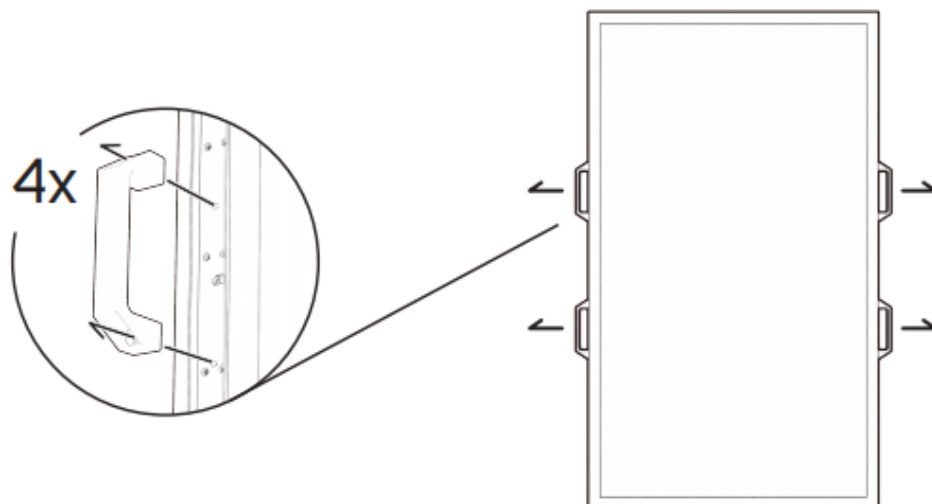
5. ディスプレイをフロアスタンドと合体させる



ディスプレイを持ち上げて取り付けられたプレートがスタンドの脚のスロットに入るように下ろし、脚の内側から組み立て用ネジ (c.) で左右それぞれ3か所をネジ止めして固定します。ディスプレイの持ち上げ・スタンドへの挿入作業は高い位置になりますので必要に応じ踏み台を左右に用意し上側のハンドルを持つ人が踏み台の上ののり4名で組む方法をお勧めします。

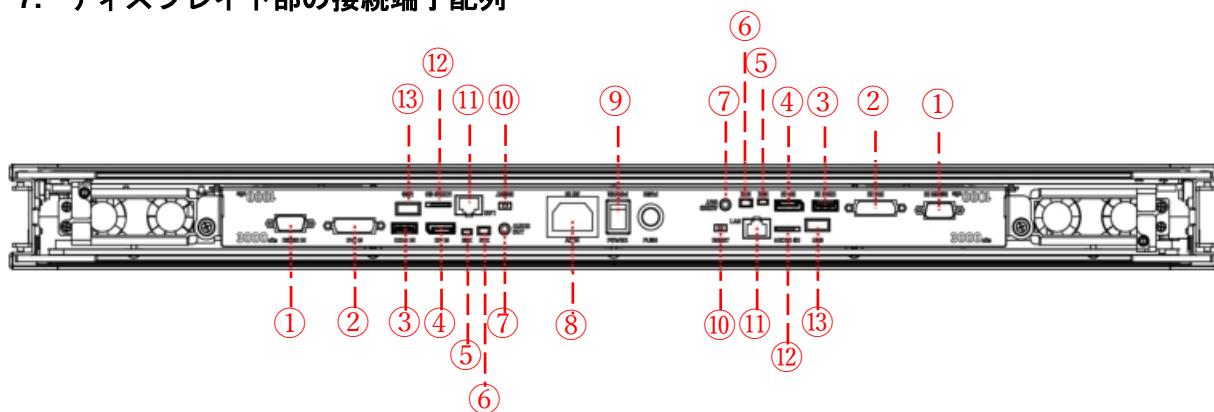
6. ディスプレイのハンドルを取り外す

ディスプレイがスタンドに固定されましたら左右4か所のハンドルのネジを緩め取り外します。

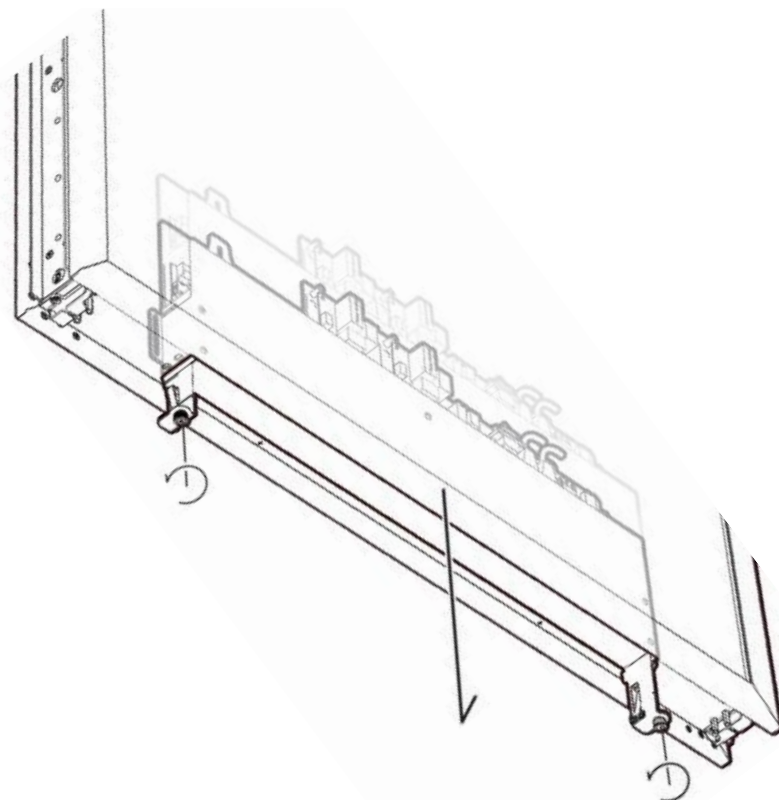


以上で基本的な組立て作業が終わりました。

7. ディスプレイ下部の接続端子配列



- ① RS-232 (入力): PC からの遠隔コントロール用 RS-232 ネットワーク入力接続
- ② DVI (入力): PC の DVI-D 出力または AV 機器の HDMI 出力を DVI-HDMI ケーブルで接続
- ③ HDMI (入力) : PC の HDMI 出力または AV 機器の HDMI 出力を HDMI ケーブルで接続
- ④ DP (入力): PC の DP 出力または AV 機器の DP 出力を DP ケーブルで接続
- ⑤ 拡張コネクタ: オプションの IR 拡張センサーキット (ESK302) 用拡張コネクタ
- ⑥ サーマル: オプションの拡張サーマルキット (ETK201) 用拡張コネクタ
- ⑦ オーディオ (出力): オーディオ信号出力をオーディオ入力端子から外部 AV 機器に接続
- ⑧ AC (入力): 付属の電源コードとコンセントを接続
- ⑨ 電源スイッチ: 主電源のオン/オフを切り換えます.
- ⑩ リセット: 内蔵メディアプレイヤーの再起動
- ⑪ RJ-45 (入力): PC からの遠隔コントロール用 RJ45 ネットワーク入力接続.
- ⑫ microSD カード : 32GB までサポート
- ⑬ USB ポート: USB フラッシュドライブストレージ、マウス、キーボードに対応

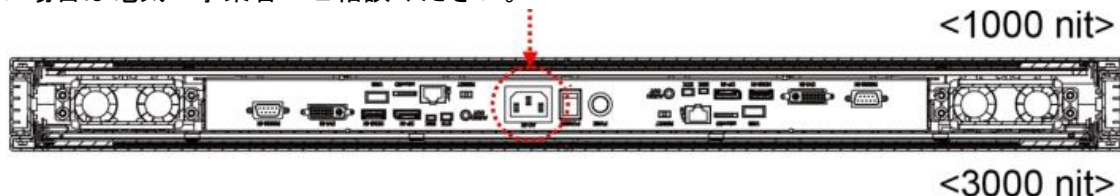


端子面はディスプレイキャビネットの内部に引きこもった状態になっていますので、ケーブルを接続するために、左右の取っ手のネジを緩め、ディスプレイ面を引き出して下さい。

8. ケーブル類の接続（電源、及び、メディアプレイヤー等外部ビデオソース機器）

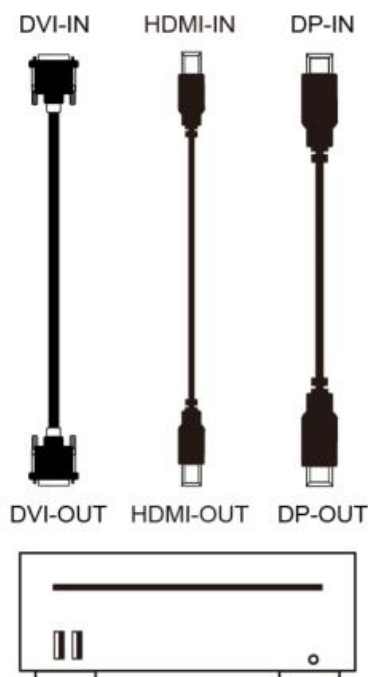
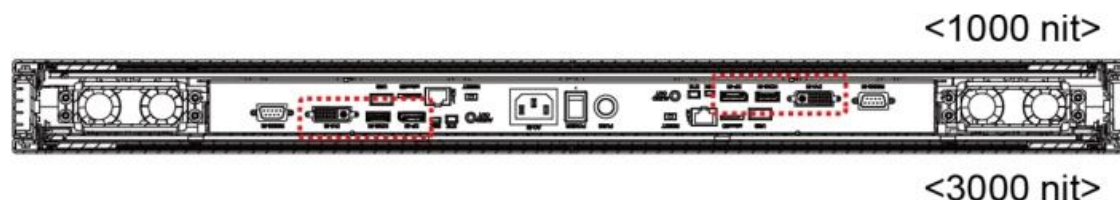
・電源への接続

付属の電源ケーブルを、下図の通りにディスプレイに接続します。電源ケーブルは後述の通りスタンドの脚を通して床に固定した底板部より外部のコンセント（100V、50 / 60Hz AC 電源）に接続します。アースも忘れずに接続ください。アース用端子が無い場合は電気工事業者へご相談ください。



・外部ビデオソースに接続する

セットおよび外部ビデオ機器、両方の電源をオフになっていることを確認します。HDMI ケーブル（または DVI, DP ケーブル）の一方の端をディスプレイ背面の HDMI 入力（または DVI, DP 入力）に挿入します（下図を参照）。HDMI ケーブル（または DVI, DP ケーブル）のもう一方の端をビデオソースの HDMI 出力（または DVI, DP 出力）に接続します。詳細につきましては、ご使用になられているビデオ機器のマニュアルもご参照ください。両面ディスプレイですので、同様に 2 組の接続を行います。

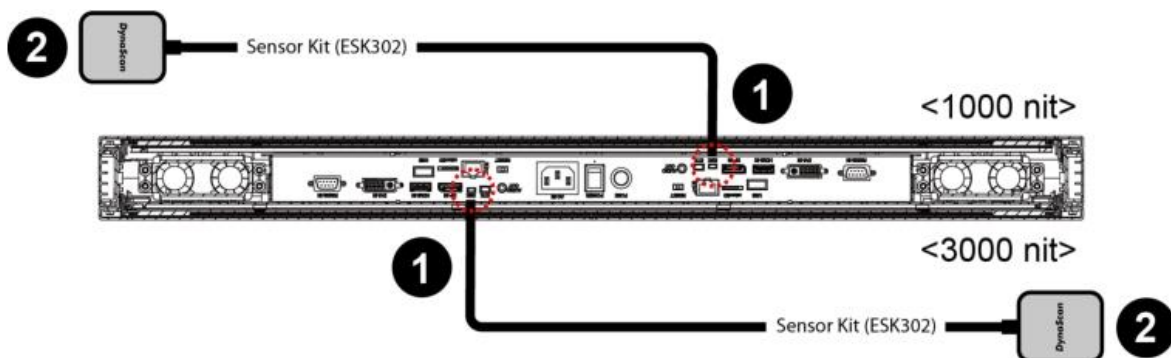


尚、本製品はケーブル類は付属のスタンドの脚の内部を引き回して底板部に設置されたメディアプレイヤーに接続することで、外部からは見苦しい配線が見えないデザインになっています。従いまして、接続に使用されるケーブルは 2m 以上の長さのものをご利用ください。

・リモコンセンサーを接続する

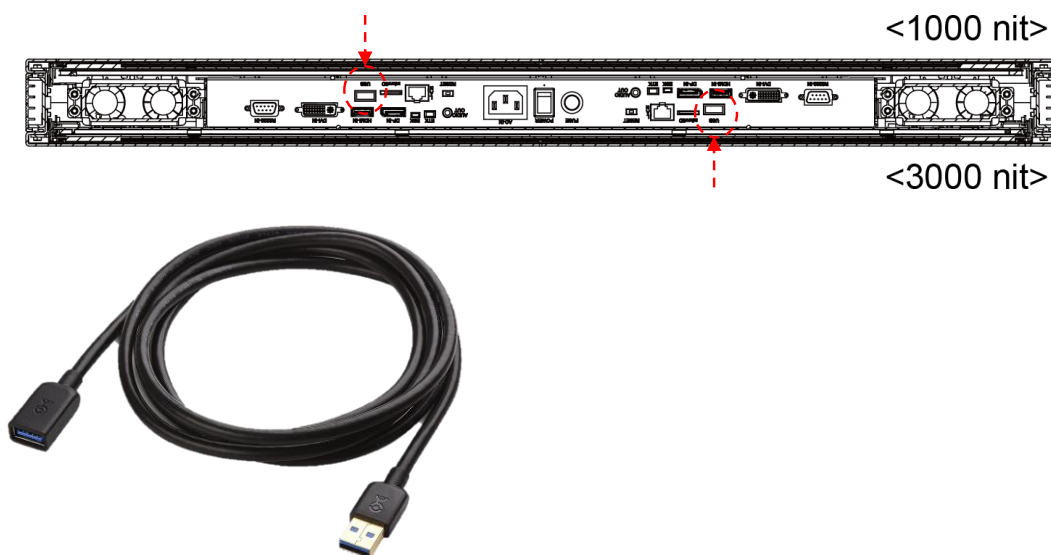
同梱の IR リモコンセンサー（ESK302）2 個を前面用・背面用それぞれ接続します。本機種はディスプレイ本体にはリモコンセンサーが付いていませんので、画面を見ながらのリモコン操作に必ず接続してください。尚、本センサーは外部照度センサーも兼用となっています。

輝度の自動切換え機能をご利用になる場合にも必要となります。（後述）

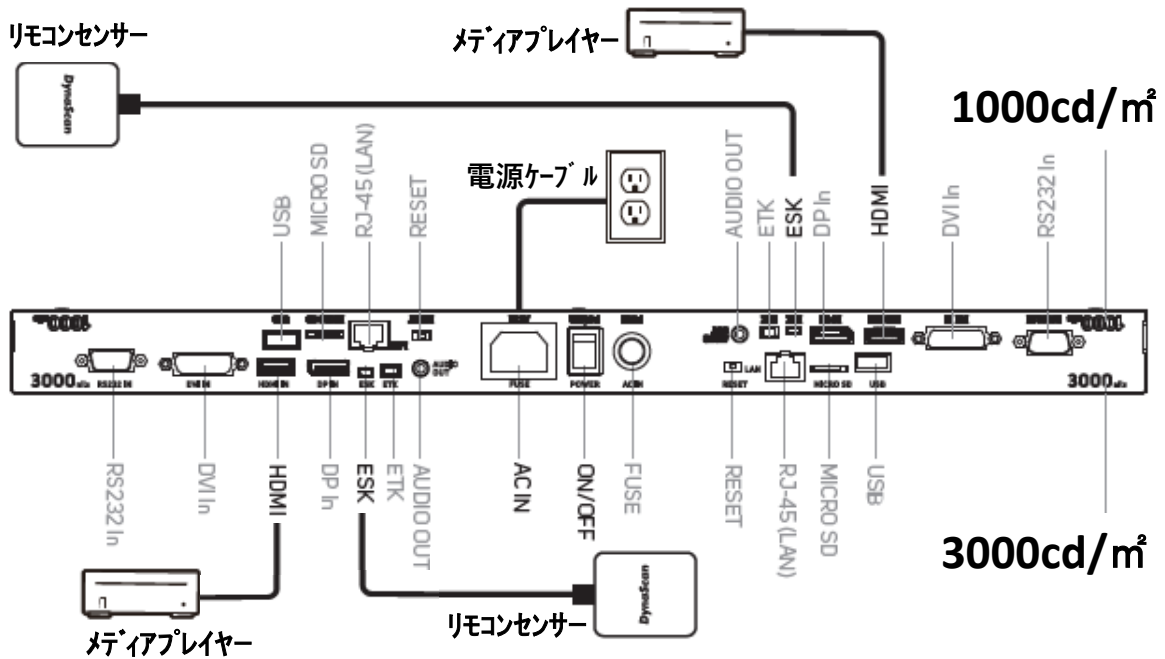


・USB 延長ケーブルを接続する

ディスプレイに内蔵されたメディアプレイヤー(DSM365)をご利用になる場合は市販の USB 延長ケーブル 2 本を前面用・背面用それぞれ接続し、スタンドの脚を通して、底板収納部まで引きこんで置きますとコンテンツを入れた USB メモリーの交換作業に便利です。（直接ディスプレイ端子部に USB メモリーの取付は可能ですが、作業の手間が多少多めなことと、余りメモリーのケースが大きいとモニター下側のカバーが出来ず、下側に飛び出してしまうことも考えられ、延長ケーブルの接続が便利です。）

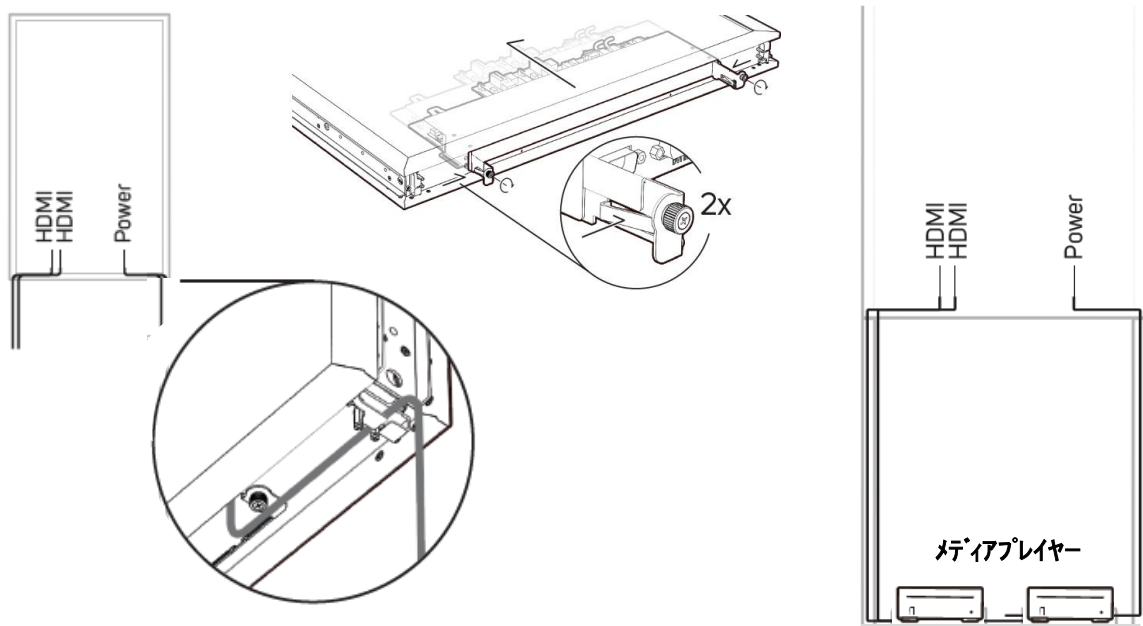


・ 基本的な接続～メディアプレイヤー、リモコンセンサー、電源ケーブル



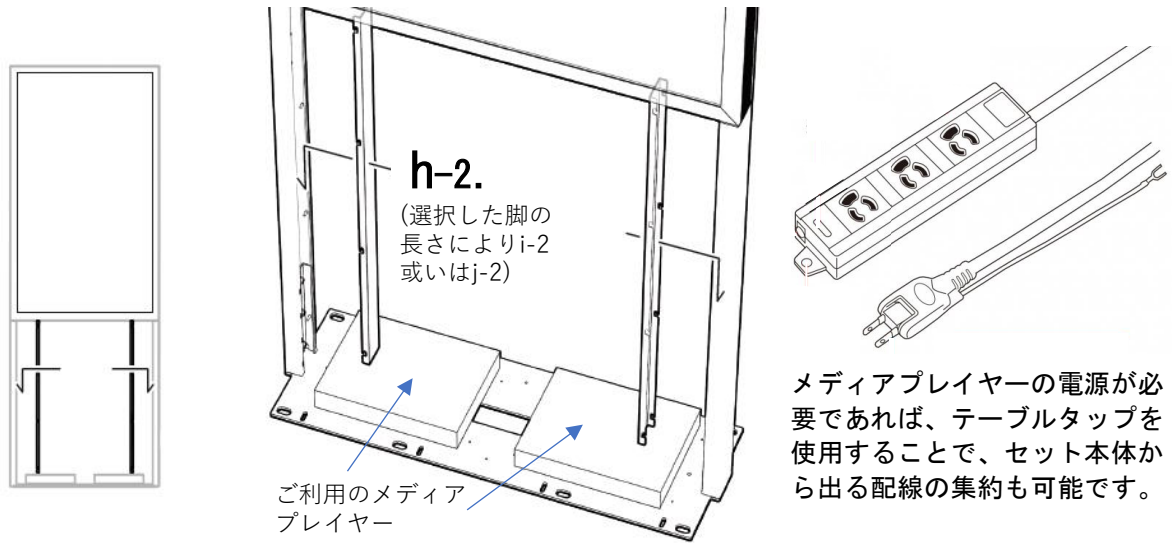
9. ケーブル類の取り回し

ディスプレイの底側端子面へ各ケーブルの接続が完了しましたら、端子面両端の取っ手を持ち端子面をディスプレイ内部へ押し込み、両側のネジを指で締めて固定します。端子部分・ケーブルはディスプレイの底辺より内側に収まりますので、ケーブルを底面左右のクリップを通して、下図のようにスタンドの脚の中を通して底面部の収納スペースまで引き回し、前述の通り外付けのメディアプレイヤーと接続して収納します。電源コードは収納スペースに設けられたケーブル引き出し口を通して、外部のコンセントに差し込みます。

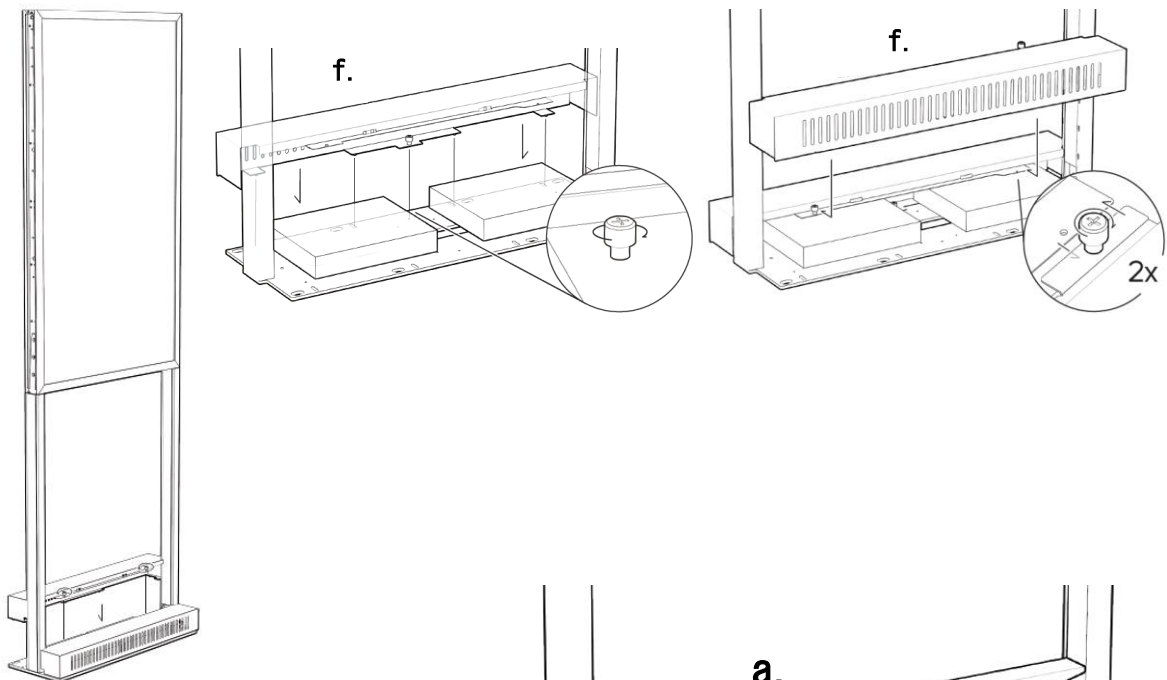


10. スタンドを完成させる

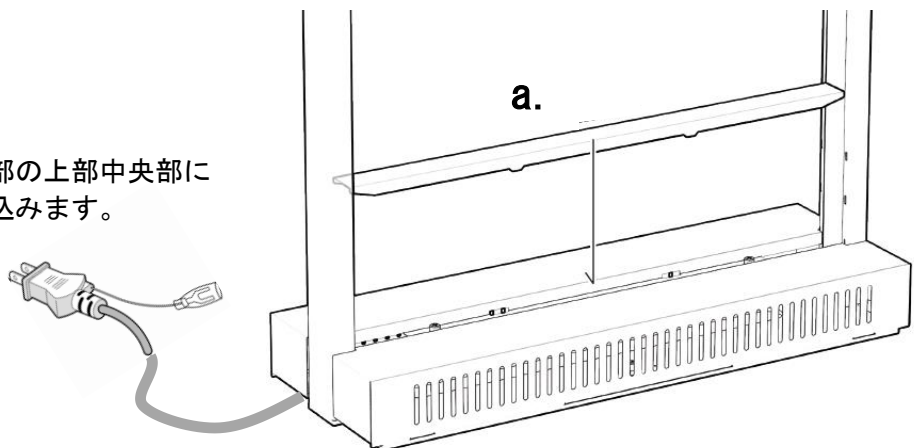
- ① 配線が見えないようにスタンドの両脚に内側からカバー (h-2) をはめ込みます。



- ② 次にお使いになるメディアプレイヤーが置かれている底板の収納部分を覆うカバー (f) を前後にネジ止めします。このネジは指で回すことが可能です。尚、カバーを止める前に柱に面した下側の隙間から電源ケーブルやリモコンセンサーを出しておいてください。

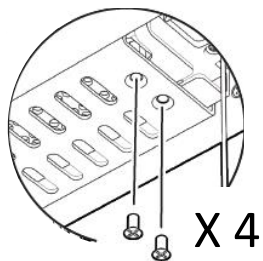


- ③ 最後に同収納部の上部中央部にカバーをはめ込みます。

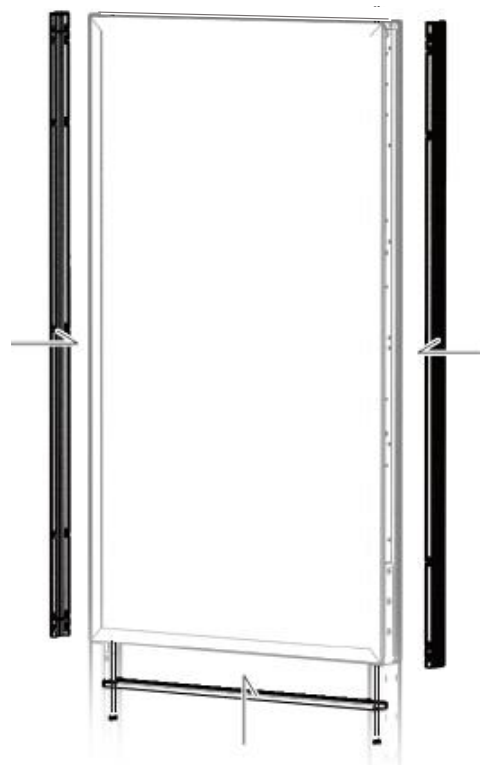
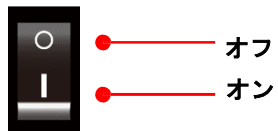


11. ディスプレイに側面カバーを取り付ける

本工程 4 (p. 11) で準備しました下辺端子面に付ける側面カバー (S) の両端を下側からもとのネジ 4 本を使用して取り付けます。



尚、カバー取付前にセットの電源スイッチを ON にして下さい。(後述 p. 21)



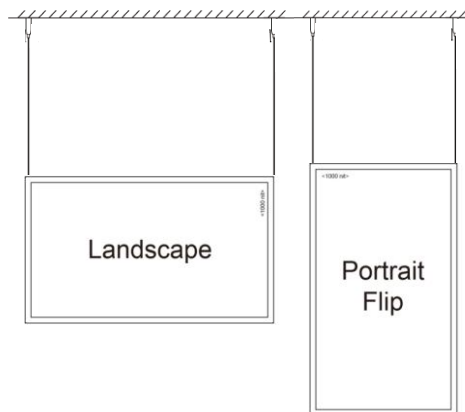
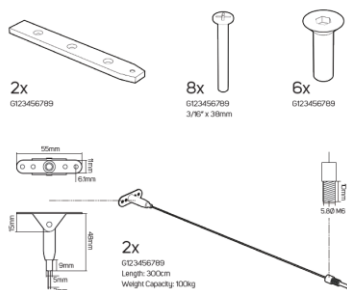
最後に長手の側面カバー (L) を左右両面に取り付けます。
ネジ止めの必要はなくはめ込むようになっています。
これで製品の設置・組み立て作業は完了です。

・ 設置方法に関する補足説明

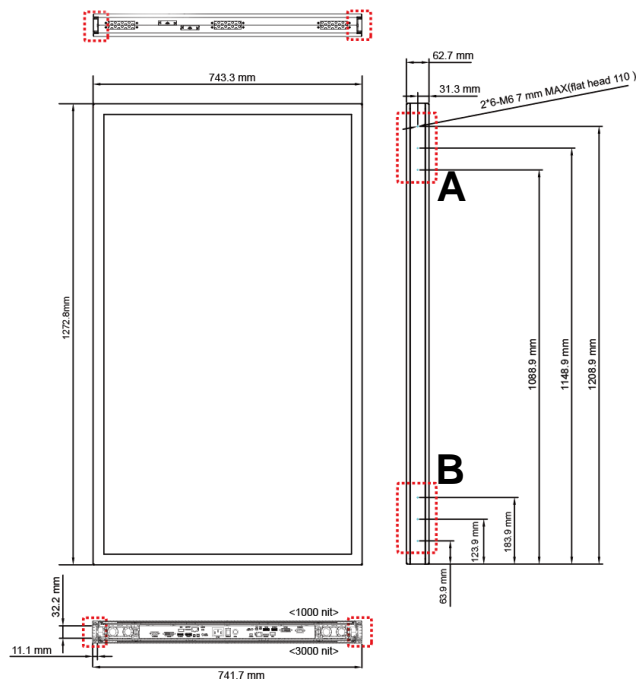
本製品は付属スタンドを使用した端子面が下向きの標準設置方法の他、別売りの天吊り金具セット(IHK551DR)等を使用した縦、あるいは横向きの設置が可能です。



[IHK551DR] 天吊り金具セット



DW551DR4 (図面単位=mm)



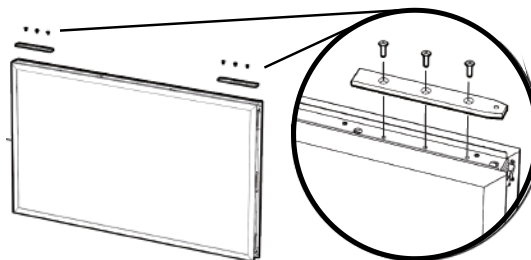
<取付金具用ネジ穴>

長辺の側面上下に3連のネジ穴があります。反対側の同じ位置にもありますので、合計12個のネジ穴です。

ネジのサイズ=M6 長さ7mm

前述の付属の縦設置用フロースタンドでは左図のBの部分の穴を使用して取付用プレートをネジ止めしました。(反対側の同じ位置も使用して6本のネジを使用)

Landscape=横設置の場合はAとBのネジ穴合計6個を使用して設置用金具を取り付けます。



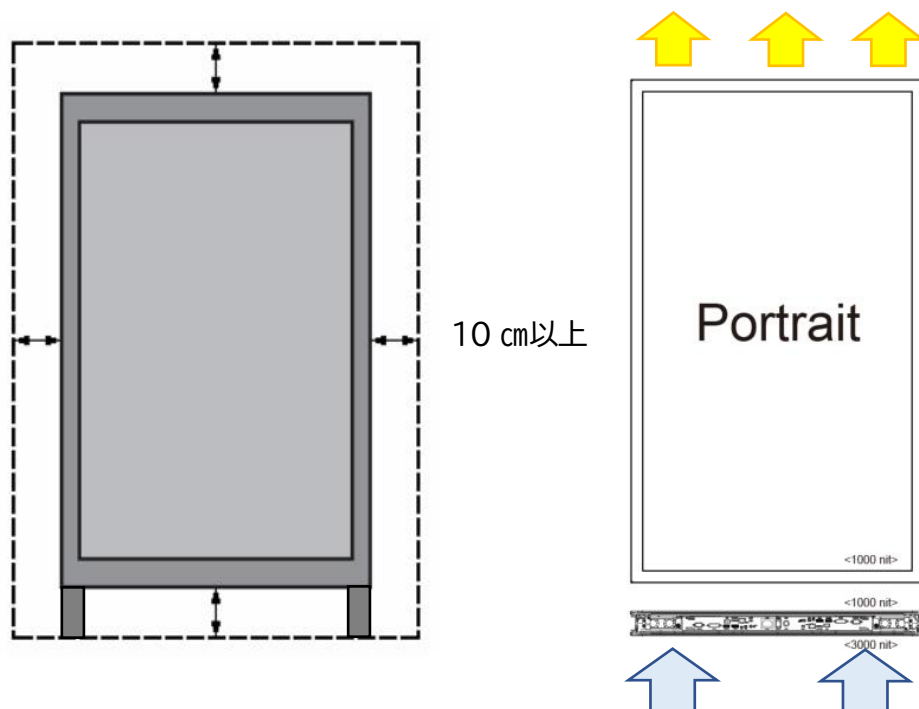
天井から吊るす場合 (別売り天吊り金具使用時)

- ・ 天井は本体とそのアクセサリを設置するのに十分な強度である必要があります。天井の強度を評価する際は、地震、不測の振動、およびその他の外的衝撃を考慮してください。建設業者・機器取付業者と事前にご相談ください。

- ・軽量のスチールフレームやインテリアデコレーションなどではなく、梁など建物の構造部に金具を固定するようにしてください。
- ・設置には木ねじや乾式壁用のアンカーを使用しないでください。

不十分な強度の天井から吊るしたり、マウントするとセットが落下して重大な事故の原因となりえますので十分ご注意ください。

また、お客様がご自分で横設置用スタンドや壁取付金具等をご準備され設置する場合、適切な強度と安全性を維持していることが必要になりますので、建築業者、設置業者と強度や安全性につき事前によくご相談頂き、セットのサイズ・重量・取付穴仕様に適した製品をご利用ください。



前述の通り、本機種は短辺の側面から吸排気をしていますので、窓枠のような形で空気が移動できない状態で埋め込む様な設置は出来ません。（スタンドを使用した標準設置の場合、端子面のある下側より吸気、上面より排気）

ディスプレイの周辺は必ず 10cm 以上の空間を維持し、空気の循環が保たれることが必要です。

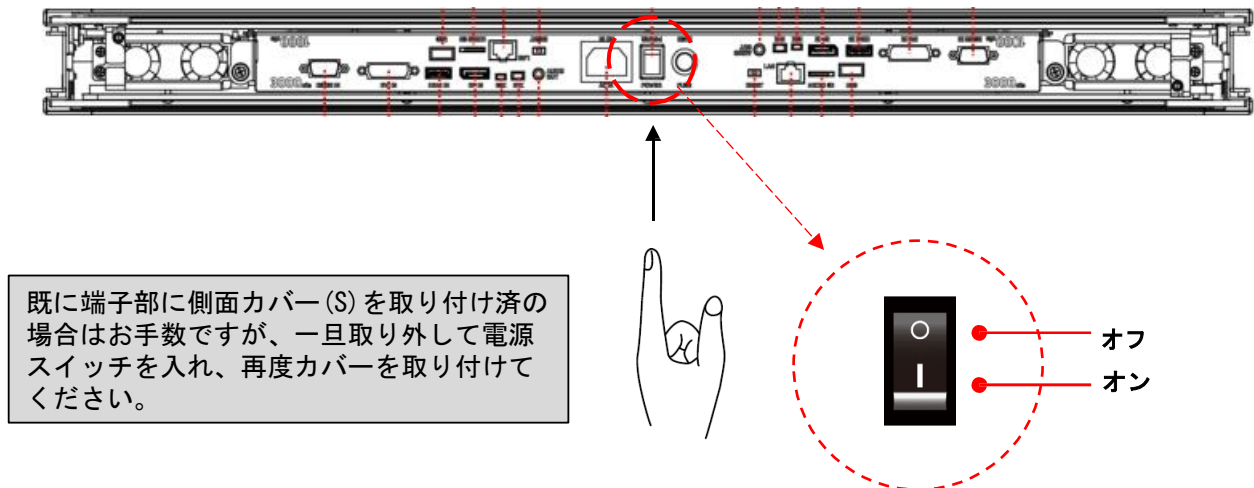
・メンテナンス

留め具に緩みや変形がないか、定期的に確認してください。問題があった場合には適切な是正措置をとってください。問題/トラブルを放置しておくと、さらに悪化する場合があります。過去にメンテナンス修理をした場所は検査回数を増やし、問題/トラブルが再発していないか確認してください。

操作説明

ディスプレイのメイン電源を入れる/切る

ディスプレイ電源のオン/オフは、ディスプレイ背面の電源スイッチを押します（下図を参照）。



注：リモコンは電源スイッチが、オンの場合のみ作動します。リモコンでディスプレイを稼働させる際、画が出るまで5~6秒かかります。

リモコンの使用方法

リモコンを使用する際は、接続されたリモコン/照度センサー (ESK302) に向けて使用してください。受信角度は100度です。リモコンの操作範囲は2.5メートル（8フィート）です。前面用センサーと背面用センサーの感覚は十分空けて誤動作を回避ください。

本モデルのIRリモコン操作ボタンの構成は下図を参照してください。

環境光がリモコンの性能に影響する場合があります。蛍光灯やネオンライトの側での使用は避けてください。

リモコンの電池の挿入/交換

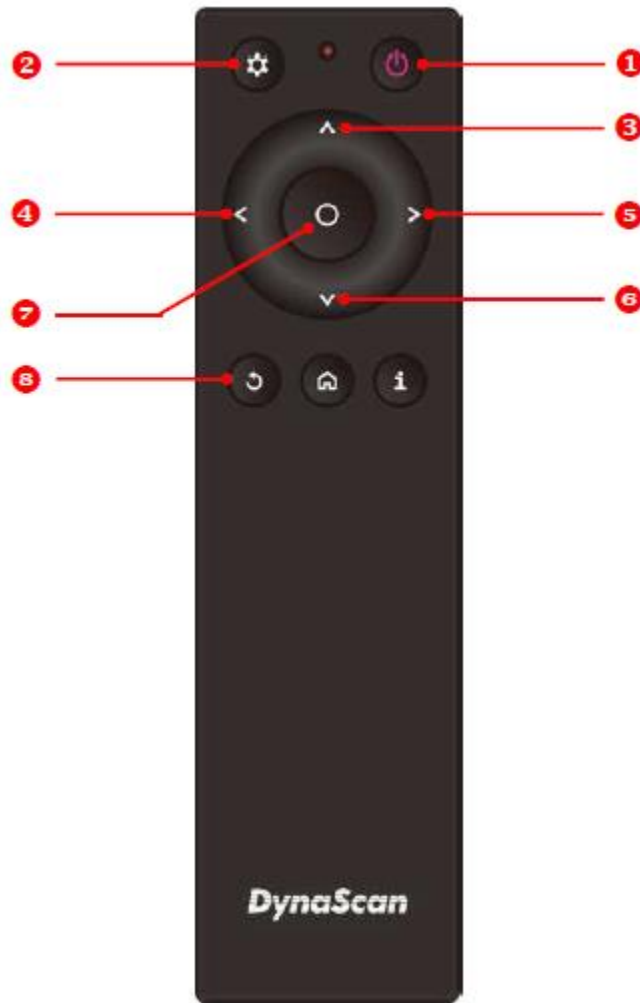
1. 電池収納カバーを開きます。
2. 同梱の新しい単4電池2本を挿入してください。
3. 電池収納カバーを閉じます。



警告:

- 電池の不適切な使用は液漏れまたは爆発の危険性があります。
- 挿入する際には、電池のプラス/マイナスの向きに注意してください。
- 異なるタイプの電池、あるいは新しい電池と古い電池を同時に使用しないでください。電池の寿命を縮め、液漏れを起こす危険性があります。
- 使用後の電池は収納ケース内で液漏れを起こさないよう取り外し、交換してください。
- 電池に液体が付着している場合、液漏れの可能性がありますので触らないでください。肌を傷つける恐れがあります。

注：リモコンを長期間使用しない場合は、電池を取り外しておくことを推奨します。



モデル/型式により色や形状が異なる場合があります。

アイテム		説明
①	POWER (電源)	電源オン/オフ
②	MENU (メニュー)	OSD オン/オフ
③	UP (上)	カーソルを上に移したり、選択したアイテムの設定を変更します。
④	LEFT (左)	現在の選択を終了します。
⑤	RIGHT (右)	ハイライトしたアイテムを選択します。
⑥	DOWN (下)	カーソルを下に移したり、選択したアイテムの設定を変更します。
⑦	OK	確定 (DSM365 のみ)
⑧	戻る	前のページに移動します。 (DSM365 のみ)

* リモコンはリモコンセンサー(p.15 ご参照) に向けて操作しますが、前背面 2 つのセンサーに同時にリモコンの信号が到達しますとそれぞれの画面で異なる設定等が出来ません。それぞれのセンサーは十分離して、リモコンをセンサーに近づけ、個別に操作が出来るようにご配慮下さい。

オンスクリーンディスプレイ (OSD)メニュー操作方法

リモコンのMENU (メニュー) ボタンを押して OSD を表示します。矢印キーを使用してメニュー項目を選択し調整します。設定項目は前ページ図の④のく (左) ボタンを押して一つ上のメニューレイヤーに戻ると確定します。全ての OSD 操作による調整・設定は両面独立して 2 系統ありますので、それぞれ同様 (輝度以外) の操作を行って設定してください。

1. Input Source (入力ソースの選定)

Input Source	Main	HDMI
Picture	Failover 1	DP
Time	Failover 2	DVI
Backlight	Failover 3	DSM365
Advance		

* Failover とは優先している入力信号が何等かの理由で途絶えた場合にバックアップとして次の信号を再生する為の設定。左の場合は HDMI 信号がメイン、もし信号が来なくなったら DP—DVI—DSM365 (内蔵メディアプレイヤー) の順で入力のある信号を再生。

アイテム 1	アイテム 2	デフォルト	説明
Input Source	Main (メイン)	HDMI1	メイン入力を表示するよう設定します。
(入カソース)	Failover (フェールオーバー) 1	DP	フェールオーバー1入力を表示するよう設定。
	Failover (フェールオーバー) 2	HDMI2	フェールオーバー2入力を表示するよう設定。
	Failover (フェールオーバー) 3	DSM365	フェールオーバー3入力を表示するよう設定。

2. Picture (画質調整)

Input Source	Color Temperature	User 2
Picture	R	100
Time	G	100
Backlight	B	100
Advance	Contrast	50
	Gamma	2.2
	Sharpness	Low
	Black Level	RGB Full

アイテム 1	アイテム 2	デフォルト	説明
Picture	Color Temperature (色温度)	USER 2	色温度を設定します。(User2, User1, D93, D65 and D55).
	Red (赤色レベル)		レッドライトのレベルを調整します。レンジ0 - 100。 注：この機能はUser2モードでのみ作動します。
	Green (緑色レベル)		グリーンライトのレベルを調整します。レンジ0 - 100。 注：この機能はUser2モードでのみ作動します。
	Blue (青色レベル)		ブルーライトのレベルを調整します。レンジ0 - 100。 注：この機能はUser2モードでのみ作動します。
	Contrast (コントラスト)	50	コントラストレベルを調整します。レンジ0 - 100。
	Gamma (ガンマ)	2.2	ガンマ値を選択します。(Native, 2.2, 2.4, sGamma)
	Sharpness (シャープネス)	Low	シャープネス値を調整します。(High, Medium, Low)
	Black Level (ブラックレベル)	RGB Full (RGBフル)	ブラックレベルを選択して画面のグレースケールを調整します。ビデオソースに対し「Limited(制限)」にすると HDMI と同様に RGB の 16~235 階調を使用します。ビデオソースに対し「RGB Full (RGBフル)」にすると 0 から 255 の全階調を使用します。

3. Time (時間関連の設定)

Input Source	Current Date	2020/06/09
Picture	Current Time	05:19:30
Time	Day of Week	Tuesday
Backlight	Daylight Saving	Off
Advance	Power Control Timer	Off
	Power On Time	00:00
	Power Off Time	00:00

アイテム 1	アイテム 2	デフォルト	説明
Time (時間)	Current Date (現在の日付)	YYYY:MM:DD (年/月/日)	日付を設定します。
	Current Time (現在の時刻)	HH:MM:SS (時/分/秒)	時計を設定します。注: 内部時計は電源がオフの間も機能しています。
	Day of Week (曜日)		曜日を設定します。(月曜日~日曜日)
	Daylight Saving	Off (オフ)	DST(夏時間)設定をオン・オフします。日本では不要
	Power Control Timer(電源タイマー)	Off (オフ)	電源自動オン/オフ機能を稼働させます。
	Power On Time (電源オン時間)	00:00	電源オン時間を設定します。
	Power Off Time (電源オフ時間)	00:00	電源オフ時間を設定します。

4. Backlight (バックライト-明るさに関する設定)

Input Source	Auto Brightness	Off
Picture	High Level	100
Time	Low Level	30
Backlight	High Level Time	00:00
Advance	Low Level Time	00:00
	Local Dimming	Medium
	ALS Threshold	01(88)

アイテム 1	アイテム 2	デフォルト	説明
Backlight(バックライト)	Auto Brightness (輝度自動調整)	Off	輝度の自動調整のオン/オフを設定します。 A: 輝度自動調整がオフの場合、ディスプレイの輝度はHIGH LEVEL(高レベル)の値で維持されます。 B: 輝度自動調整がオン(Auto)になっている場合、ディスプレイの輝度は環境光に基づいて調整されます。環境光が明るい場合、画面の輝度の値はHIGH LEVEL(高レベル)設定となり、環境光が暗い場合はLOW LEVEL(低レベル)設定となります。 C: タイマーモードが設定された場合、ディスプレイは設定時間に基づき自動的に輝度を切り替えます。
	High Level (高輝度モード)	100	高輝度モードの明るさを設定します。レンジ 0 - 100 3000cd側=3000cd/m ² , 1000cd側=1000cd/m ²
	Low Level (低輝度モード)	10 30	低輝度モードの明るさを設定します。レンジ 0 - 100 3000cd側->10=300cd/m ² , 1000cd側->30=300cd/m ²
	High Level Time(高輝度設定時間)	00:00	高輝度モードに切り替える時間を設定します。
	Low Level Time(低輝度設定時間)	00:00	低輝度モードに切り替える時間を設定します。
	Local Dimming (ローカルディミング)	Medium (中)	コントラストを調整します。High(高)は最もコントラストが高く、Off(オフ)は最もコントラストが低くなります。(Offオフ、Low低、Medium中、及び High高)
	ALS Threshold (照度センサーのレベル設定)		輝度の高輝度モードと低輝度モードの切替を行う照度センサーの感度レベルを設定します。(本機能は上記のAuto BrightnessがAutoの時のみ作動します。)

5. Advance (その他の設定)

Input Source	Display Mode	Auto
Picture	Screen Protection	Off
Time	IR Control	On
Backlight	Power Off Mode	Standby
Advance	Volume	100
	AC Back Status	Power On
	Reset to Default Setting	Off

アイテム 1	アイテム 2	デフォルト	説明
Advance (アドバンス)	Display Mode(表示モード)	Auto	メニューの向きを変更します。メニューはLANDSCAPE(横置き)、PORTRAIT(縦スタンド設置)あるいは、PORTRAIT FLIP(縦天吊り設置)モードで表示できます。
	Screen Protection (スクリーン焼き付けの保護)	Off(オフ)	画像の焼き付け保護をオン/オフします。画像焼き付け保護動作の間隔を設定します。レンジ 0 - 100分 焼き付け保護は黒い帯状の表示がスクロールします。故障と勘違いされかねず、通常はOFFにしてください。
	IRControl (IRコントロール)	On(オン)	メニュー操作用のリモコン機能を有効化/無効化します。 注 ：無効化した後は、ディスプレイのコントロールパネルまたはDynaScan「Display Manager (ディスプレイマネージャー)」アプリケーションSWから再度リモートコントロール機能を有効にできます。
	Power Off Mode (電源オフモード)	Standby(待機)	電源オフモードではRS-232Cによる操作が出来ません。セット本体の主電源ボタンかリモコンのパワーボタンでのみディスプレイを稼働できます。
	Volume (音量)	100	外部機器への音量出力を設定します。レンジ 100 - 0
	AC Back Status (電源復旧対応)	Power On (パワーオン)	ACバックステータス機能の使用を選択します。 -電源オン： 停電後電源が回復した際に起動します。 -スタンバイ： 停電後に電源が回復するとディスプレイはソフトオフ状態を維持します。 -メモリ： 停電後電源が回復するとディスプレイは最後の状態に戻ります。
	Reset to Default Setting (出荷時の状態に戻す)	Off(オフ)	すべての設定をデフォルト設定にリセットします。 注 ： 現在日時、曜日、電源オン時間、電源オフ時間はリセットされず現状を維持します。

6. Information 1 (本セットの情報1)

Information 1	Resolution	HDMI 1920x1080
Information 2	Model	DW551DR4
Information 3	Serial Number	551DR4XXXXXXXX
	Hardware	XXXXX
	Firmware	XX.XX.X
	Color Depth	8 bits

アイテム 1	アイテム 2	デフォルト	説明
	Resolution (解像度)		入力の解像度を表示します。
	Model (モデル)	DW551DR4	ディスプレイのモデル名です。
Information1 (情報1)	Serial Number (シリアル番号)		ディスプレイのシリアル番号です。
	Hardware (ハードウェア)		ハードウェアバージョンです。
	Firmware (ファームウェア)		ファームウェアバージョンです。
	Color Depth		現状入力の色深度

7. Information 2 (本セットの情報2)

Information 1	Amb. Temp. (Back)	27°C/ 80°F
Information 2	Amp. Temp. (ETK)	No Connection
Information 3	ALS Level (Amb.)	10

アイテム 1	アイテム 2	デフォルト	説明
	Amb.Temp.(Back) (温度監視)		LCD内BLU(バックライトユニット) の温度を計測・モニタリング
Information2 (情報2)	Amb.Temp. (ETK)(外部温度)		LCDの外部 (環境) 温度をモニタリング。(別売りの温度センサーETK302が必要です)
	ALS Level (外光照度センサーレベル)		環境光の明るさのモニタリング。(照度センサー)

8. Information 3 (本セットの情報3)

Information 1	Over Heat Protection	Inactive
Information 2		
Information 3		

アイテム 1	アイテム 2	デフォルト	説明
Information3 (情報3)	Over Heat Protection (過熱保護)	Inactive(非稼働)	ディスプレイの内部温度が過熱すると保護モードに入り輝度を抑制し重大事故発生の可能性を低減します。 65° C = 輝度75%、 67° C = 輝度50%、 69° C = 輝度10% 温度が下がり保護モードから抜けると輝度は100%に戻り、本保護モードは終了します。

仕様

モデル		DW551DR4
パネル	LCDパネルサイズ	54.64 インチ (x2)
	ネイティブ解像度	1920 x 1080
	輝度	1000 cd/m ² (標準) / 3000 cd/m ² (標準)
	コントラスト比	3,000:1
	応答速度	8 ms (標準)
	表示角度	178°/ 178°
	ランプ寿命	50,000時間 (動作温度が一定の場合)
	パネル表面	AR 1.5%, 2H
電力	電源	内蔵
	定格電圧	100 ~ 240V, 50 / 60Hz
	電源オンモード	標準240W / 最大380W
	スタンバイモード	1W以下
機械的仕様	ベゼル幅 (上部/下部/左/右)	29.5 mm均一
	キャビネットの色	ブラック
	モニター寸法 (長 x 高 x 奥行、スタンドは含まず)	1272.8 x 743.3 x 62.7 mm
	モニター重量	43 kg
	設置方向	縦 (Portrait), 縦逆 (Portrait Flip), 横 (Landscape)
ユーザーインターフェース	OSD言語	英語
環境	作動時の温度	0°C ~ 45°C
	保管温度	-20°C ~ 60°C
	湿度	10%~80% RH結露なし
I/Oポート	HDMI (HDCP対応)	入力x2
	DP	入力x2
	DVI-D	入力x2
	RS-232	入力x2
	オーディオ	出力x2
	RJ-45	x2
	microSDカード スロット	x2
	USBポート	x2
Mini USBポート	x2 (付属照度センサー用)	
ヒューズ		6.3A

* 設計と仕様は、予告なく変更されることがございます。

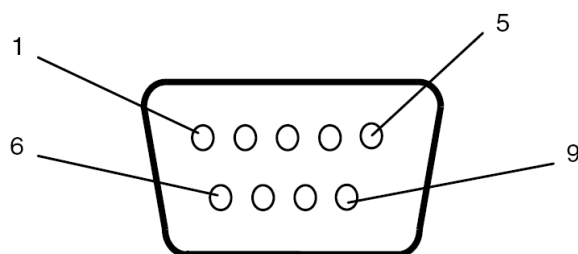
入力モード

アクティブ解像度		リフレッシュレート	ピクセル比率	縦横比
水平ピクセル	垂直ピクセル			
640	480	60 Hz	25.175 MHz	4:3
720	480	59.94 Hz	27 MHz	4:3
800	600	60 Hz	40 MHz	4:3
1024	768	60 Hz	65 MHz	4:3
1280	720	60 Hz	74.25 MHz	16:9
1280	768	60 Hz	79.5 MHz	5:3
1360	768	60 Hz	85.5 MHz	16:9
1920	1080	60 Hz	148.5 MHz	16:9

* 接続するコンピューターによっては、上記対応信号であっても正しく表示できない場合があります。

ピン配列

RS-232 入力



PIN No.	名称
01	7と8に接続
02	TXD
03	RXD
04	6に接続
05	GND アース
06	4に接続
07	1と8に接続
08	1と7に接続
09	非接続

DSM365 について

DSM365 は、USB メモリー/microSD カードにより一般的な静止画・動画のコンテンツを簡単に再生が出来るディスプレイ内蔵の Android ベースメディアプレイヤーです。本製品には前面用、背面用の 2 機のメディアプレイヤーが内蔵されており、それぞれ個別に操作します。

1. DSM365 に切り替えるには

- ・ リモコンの MENU (メニュー) ボタンを押して OSD を表示します。
- ・ 矢印キーを使用して入力ソースを選択し、Input Source (入力ソース) → Main (メイン) → DSM365 と選択します。

Input Source	Main	DSM365
Picture	Failover 1	DP
Time	Failover 2	DVI
Backlight	Failover 3	HDMI
Advance		

- ・ リモコンのホームボタンを押します。アンドロイドの画面になりますので、DSM365 を選択して決定ボタンを押して下さい。右下の画面になりましたら準備完了です。



本説明は初めてのご使用時のもので、一旦 USB にコンテンツを入れて挿入すれば、次回からは DSM365 を選択すると自動的に再生を開始いたします。

2. コンテンツについて



再生対応コーデック
静止画：JPG, PNG
動画：MP4 (1920 x 1080、
4K model は3840 x 2160にも対応)



縦設置 (Portrait) の場合は、画像の左側が上になるように作成してください。

簡単自動再生の場合、ファイル名順に再生されますのでファイルの頭部分に再生する順番に 01、02 のように番号を振れば、その順番に再生されます。

例) 001_xxxxxx.jpg
002_yyyyyy.mp4

3. 簡易自動再生について

前述のファイルの頭部分に再生する順番に 01、02 のように番号を付けた名前で USB（又は Micro SD）にセーブされたコンテンツの自動再生の設定方法です。一度設定すれば、新しいコンテンツに切り替える際も本設定は維持されていますので、簡単にコンテンツの更新・再生を行うことができます。

①



作成されたコンテンツの記録された USBメモリーを差し込んでください。(又はMicro SDカード)

②



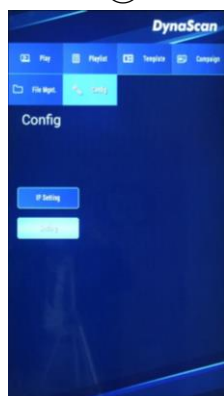
リモコンの○(決定)ボタンを押すと③の画面が表示されます。

③



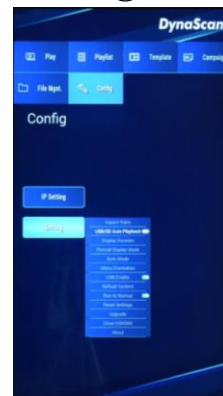
リモコンの上下左右キーを押して“Config”に合わせ(ハイライトになります)、決定を押してください。

④



次に“Setting”を選択し決定ボタンを押してください。

⑤



“USB Auto Playback”を On にしてください。

⑥



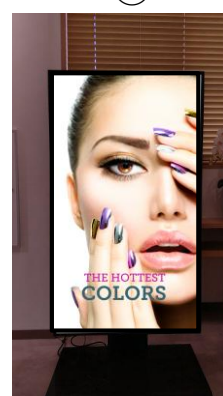
次に“Display Duration”を選択し、再生される静止画像の秒数を決めます。

⑦



5秒、10秒、30秒から選びOKを押します。(＊動画コンテンツはその長さでのみ再生)

⑧



リモコンの⏪ボタンを数回押すと自動的に再生が始まります。

トラブルシューティング

問題点	推奨される解決策
画像が表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ケーブルがしっかりと挿入されているか確認してください。 ●メインスイッチがオンの位置になっているか確認してください。また電源コードがしっかりと挿入されているか確認してください。 ●画像ソースの解像度形式をサポートしているか確認してください（23 ページの「入力モード」項目参照）。 ●ケーブルが破損または過度に曲げられていないか確認してください。
メインスイッチをオンにしても何も作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●電源コードをコンセントから抜き、再度差し込んで数秒待ってからサイネージをリセットしてください。 <p>注：電源コードを抜いても設定は変更されません。</p>
画像が安定しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ケーブルがしっかりと挿入されているか確認してください。
リモコンが機能しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●リモコンに電池が入っているか確認してください。 ●電池が新しいか、プラス/マイナスの向きは正しいか、なども確認してください。 ●リモコンを操作範囲内で操作しているか確認してください。 ●明るい光がリモコンに干渉している場合があります。リモコンは特定の蛍光灯やネオンライトの近くでの使用は避けてください。
自動オン/オフが機能しない、あるいは正しく機能しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●メニュー内の TIMER (タイマー) 設定が OFF (オフ) になっていないか確認してください。 ●「Power On Time (電源オン時間)」と「Power Off Time (電源オフ時間)」が正しく設定されているか確認してください。
RS-232 を介してディスプレイを遠隔コントロールできない。	<ul style="list-style-type: none"> ●RS-232 ケーブルが正しく接続されているか確認してください。

本モデルの問題が解決されない場合は、取扱店または DynaScan まで、直接お問い合わせください。

www.dynascandisplay.co.jp

www.dynascanusa.com

**ダイナスキャン・テクノロジー・ジャパン株式会社
〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町 888 番地**